

明石高専との連携で企業支援さらに充実

新たにCADの技術実習講座を2コース開設

産業振興財団と明石高専は、平成21年に互いの特長を活用して、市内企業の技術支援に取り組みうと連携協力協定を結びました。これまでは専門技術セミナーや技術相談、次世代の技術者の育成事業など多くの事業を共に実施してきました。今年度からは、高専の教授陣の知識と高専の設備を活用する実習講座の取り組みを強化しています。その特徴は、複数の教授陣がサポートするため、受講生のそれぞれのレベルに応じた指導が受けられることで、受講生に好評を得ています。

新設
講座

「機械製図CADの基礎を学ぶ」

明石高専機械工学科のCAD室等で、9月の各土曜日(4回)に開催し、9名が受講しました。

午前は機械製図の基礎理論の学習を、午後からは図面の作成や演習などCADの初歩的な使い方を、複数の教授によるサポートで学びました。受講生からは「わかりやすかった。職場で生かしたい。」などの声が聞かれました。



教授陣の熱心な指導が好評

新設
講座

「再就職にチャレンジする女性のためのCAD入門講座」

結婚や出産、育児などで一旦職場を離れた女性の職場復帰を支援するため女性のための土木・建築CAD入門講座を10月から1月にかけて10回講座(定員10名)を実施します。受講料は有料ですが、定員いっぱい応募をいただきました。景気の低迷で女性の就労機会が少なくなっていますが、この講座が企業への再就職に結びつく支援プログラムになることを期待しています。

「専門技術講習会」も実施

「循環型社会実現に向けた コンクリートの応用技術」をテーマに

9月16日(木)には明石高専の建築学科 角野嘉則先生を招き、資源循環型社会に向け、建設分野で進むコンクリート系材料の応用技術を紹介しました。当日は、建設業関係者をはじめ企業関係者、環境問題に関心の深い市民の皆さまに参加いただき持続可能な都市環境、自然環境を実現するための最新技術の現状について共に学びました。

今年度、明石高専と連携して実施する事業(※上記以外)

- 🌿 シーケンス制御の基礎講座(5月)
- 🌿 専門技術講習会(9月)
- 🌿 親子で楽しむロボット教室(1月)
- 🌿 ものづくりキッズクラブ(8月)
- 🌿 ものづくり支援セミナーin明石(2月)
- 🌿 企業訪問と技術相談の事業(随時)

企業の出会いの場 東播磨ビジネスフェア開催される

34社が参加して 顧客の開拓や自社製品のPR



多くの来場者で盛り上がる会場

去る、8月25日と26日の2日間にわたり「ITビジネスマッチングフェア」が加古川市民会館で開催されました。このフェアには、東播磨地域を拠点に活動する企業34社の出展があり、自社製品などのPRを行なったほか、①商談会、②東はりまものづくりセミナー、③企業のプレゼンテーション、④人材マッチング、⑤相談コーナーなどが行われ、企業同士の連携による新技術、新製品の開発や製品の販路拡大への足がかりとなりました。当日は、企業関係者、一般来場者など約700人が訪れ賑わいのあるフェアとなりました。

当財団は、今年度はじめて主催者の一員として参加しましたが、今後も東播磨県民局や加古川市と連携してこのビジネスフェアを発展させ地域の企業の支援の一助になるよう取り組みを強めていきたいと考えています。

2010 企業訪問

明石市など4団体と連携して企業支援

～技術相談や活発な意見交換を行なう～

本年度は2企業からの依頼を受け企業訪問を実施しました。8月5日（木）には、FHPエンジニアリング（株）（大久保町）を訪れ、ガラス金属接合技術や製品など同社の高い技術力の説明を受けました。同社からは接合検査機関の照会があり、当財団が関連の支援機関を紹介しました。また、他の訪問スタッフからは、明石高専の技術など各機関のシーズを紹介しました。また8月27日（金）には、岡本精工（神戸市西区）を訪れ、旋盤加工の技術などの相談に応じました。これら企業には当財団からは「情報定期便」や「ものづくり企業サイト」の財団の事業を説明し、技術力UPや新たなビジネスマッチング機会の拡大に活用いただくよう案内をしました。

《訪問スタッフ》 明石市商工労政課、明石工業高等専門学校、NPO技術者集団 ACT 135 明石、明石商工会議所、(財)明石市産業振興財団



企業の説明を受ける訪問スタッフ

ステップアップ

卓球教室

会場 勤労福祉会館

日時 10月11日(月・体育の日)
 午前の部 9時30分～11時30分
 午後の部 13時30分～15時30分
 定員 各80名 参加料 300円



お申込み先

産業交流センター
 勤労福祉会館
 サンライフ明石
 南二見会館

ただいま、参加者を募集中!!

光はミラクル

会場 産業交流センター

実験ショー

お土産つき!

日時 10月31日(日) 14時～16時
 定員 200名 参加料 無料



お申込みは
お電話で

産業振興財団
 (078)936-7915

〈産業交流センター多目的ホール〉

新型プロジェクターを設置、音響設備も改善

一段と美しい映像と音響、手元操作で使いやすさも向上

明石市立産業交流センターの多目的ホールは、JR大久保駅から徒歩2分という位置にあり、また179台の駐車場完備というアクセスの利便性から多くの皆さんに利用いただいています。

12年前の開設当時は、最新のプロジェクターや音響設備として親しまれた同ホールも急激なIT機器の進展により、最新パソコンとの互換性が悪く、利用者の皆さんに不便をおかけすることもありました。今回の改修により、最新の映像が活用できるホールに生まれ変わりました。皆さんのご利用をお待ちしています。

◆明るく躍動的な映像画面

786,432画素、最大6,200ルーメンの明るい画面で美しい映像や動画も快適に表現。

◆最新パソコン等にも対応

あらゆるコンピューター、持込ビデオ入力やモニターにも対応。

◆舞台横から操作可能に

ホール内に操作機器を新たに設置。切替操作により、パソコン入力2系統、ブルーレイプレイヤーにも対応。また、音声についても、音声ミキサーの操作により、各種機器の音声操作が可能。



各種交流フェア、レセプション、シンポジウム、映画など、幅広い利用が可能です。映像、音響、照明などを利用目的に合わせて制御できる附属設備を備えています。

2F	面積
多目的ホール (テクノスペース)	419㎡
イスだけの場合	252席
イスと机の場合	216席

これからの講座・セミナーなどの実施予定

セミナー名等	テーマ (内容)	実施予定
金融・経済セミナー	どうなる?こうなる!金融シリーズ (全3回)	10月~11月
神戸学院大学健康セミナー	安心・安全な家づくり・街づくり ~ユニバーサルデザインの考え方から~	11月17日(水)
ライフプランセミナー	豊かな人生を過ごすために必要なライフプランニングなど	11月
神戸学院大学公開セミナー	長寿時代の豊かなシニアライフのために~お金と心からの健康リスクマネジメント~	12月15日(水)
知的財産セミナー	特許実務支援に関する講座	12月

※上記のセミナーについては、広報あかし・情報定期便等で順次お知らせして募集していきます。

各種講座・セミナーの申込 財明石市産業振興財団 TEL078-936-7915 FAX078-936-7916 E-mail:info@aicc.or.jp

新しい科学・技術用語の解説

3D映像 -リアリティや臨場感が表現できる新たなる映像-

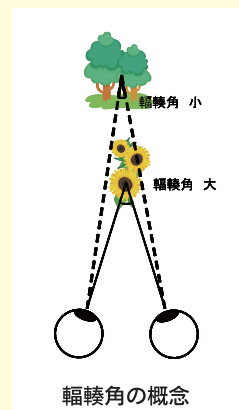
最近、3D映画が数多く制作されヒットしています。また、一般家庭向け3Dテレビも各社から販売されてきました。このように、ここに来て急に3D映像が私たちの身近なものになってきました。

人間が立体を感じるのは、①眼のピント合わせ、②輻輳角、③両眼視差、④運動視差によるといわれています。ピント合わせは、水晶体を調節することで行っています。輻輳角は、図に示すように、注視点の距離に対応した眼球の回転角のことで、距離が遠いと小さく、近いと大きくなります。両眼視差は、左右の眼に映る像の位置ずれのことで、運動視差は、同じ速度で移動していても距離によって網膜上の像の位置変化が異なる現象です。このように水晶体や眼球の調節、網膜上の像から、脳が立体を知覚すると考えられています。

3D表示の仕組みにはいくつかの方法がありますが、いずれも視差があることを利用して立体感を実現しています。つまり距離に応じて像の位置がずれている右目用・左目用映像をそれぞれの眼に入力することが基本となっています。具体的には、液晶シャッターを用いる方法、光の偏光を利用する方法、光学的なバンドパスフィルタ*を用いる方法などが実用化されています。しかし、これらはいずれも専用のメガネを用いる必要があります。これに対し、細長いかまぼこ型のレンズを敷き詰めたシートをディスプレイに重ねて、左右の眼に入力する像を変えて立体的に見せる方法(パララックスバリア法)は裸眼で立体視が可能であることから、3Dデジカメ用のデジタルフォトフレームとして実用化されています。

このように、現在の3D映像表示装置は視差のみを利用しているため、視差のある映像であるにも拘わらず、ピント合わせや輻輳角はディスプレイの位置により一定値に固定されてしまいます。このため脳の知覚に矛盾が生じるという問題があります。より自然な3D映像の実現化のためには、この問題を克服することが必要です。

※ある波長、または波長帯の光を透過させ、その短波長側、および長波長側の光を反射させるフィルタです。



輻輳角の概念

会社拝見

Vol.44

日本たばこ産業(株)【JT】 特機事業部



所在地：明石市大久保町大久保町111 資本金（全社）：1,000億円 従業員数：124名
代表的な製品：たばこの自動販売機の製造 HP：http://www.jti.co.jp

Q：御社の事業内容をお聞かせください。

A：当事業部は、1950（昭和25）年2月に竣工した大久保葉たばこ再乾燥工場が前身です。1986（昭和61）年8月にたばこ自動販売機の製造に事業転換し、今年で25年目を迎えています。主な事業としては、①サプライヤー機能としてのたばこ自動販売機（VMS機）製造等の他に、②サポート機能としてのVM訓練センターや自販機のメンテナンスに関するケアサービス支援等を行っています。

Q：御社の経営理念をお聞かせください。

A：当事業部のミッションは「VMSを中核としたたばこ流通戦略への貢献」です。JTグループの持続的成長に向けて、たばこ流通施策の面から支援することがわたしたちの役割であると考えています。

Q：御社のセールスポイントをお聞かせください。

A：当事業部の強みは、これまでの事業活動を通じて培ってきた、①コスト競争力（価格牽制力） ②たばこ流通戦略の具現化力 ③イノベーション力です。これからもたばこ自動販売機の製造等をおとしてお客様の信頼と期待に応え続けていきます。

Q：今後の事業展開をお聞かせください。

A：2008（平成20）年度の“taspo”の導入以降、たばこ流通経路が大きく変化し、たばこ自動販売機の市場は縮小しました。こうした中、たばこ自動販売機の位置づけは従来のたばこ販売という機能から銘柄（ブランド）訴求の機能も強く求められるようになりました。このようなお客様からのニーズに応えるべく、新機種の提案・開発に取組み、コストダウンとスピードアップを図りながら今年度において完成度の高いたばこ自動販売機を市場に投入していきます。



特機事業部長
下川原 邦弘 氏



自販機（標準タイプ）



自販機（訴求タイプ）

情報ライブラリーのお知らせ

研修ビデオや図書の活用を

～ 分野別の図書整理で利用しやすく改善 ～



産業交流センターの情報ライブラリーでは、企業活動に役だつ産業関係のビデオや図書を取りそろえ貸し出ししています。

昨年度の利用は、研修ビデオ・DVD338本、書籍103冊で多くの企業に利用頂いています。

今後、企業の要望にそつた図書の充実を図っていきますので是非ご希望をお寄せください。

● 情報ライブラリー 蔵書数（分野別） ●

A 経済・社会	35冊	F 環境	5冊
B 産業・企業	42冊	G 技術一般	53冊
C 経営一般	93冊	H 情報通信	14冊
D 経営実務	39冊	I パソコン	43冊
E 品質・ISO	19冊	J その他	113冊

☺ 不要になった経済・企業関係の図書を寄贈ください。

※ 書名の検索は財団ホームページから

ご利用ください 企業活動を支援する各種の相談

産業交流センターでは、企業活動を応援するため3階相談室で各種の相談事業を実施しています。気軽にご利用ください。

経営相談

毎週火～金曜日
10：00～15：00
明石商工会議所

技術相談

毎週火～金曜日
10：00～17：00
明石テクノネットワーク

発明・特許相談

毎月第2・4土曜日
13：00～16：00（要予約）
㈱発明協会兵庫県支部